

**日光が血圧によい理由を解明**

提供元：Healthday News

　日光は血圧を低下させることが知られているが、英サウサンプトン大学実験医学・統合生物学教授のMartin Feelisch氏らがその理由を解明した。  　Feelisch氏らの今回の研究で、皮膚の最上層に保存されている一酸化窒素が日光に反応し、酸化物が血流に入って血管が広がることが判明した。それにより血圧が低下するという。Feelisch氏らは、血圧が正常な24人を、日向で約30分過ごして受ける紫外線に相当する紫外線Aに曝露した結果、血管が広がり、血圧が有意に低下し、血中の一酸化窒素濃度に変化がみられた。  　Feelisch氏は、「皮膚が血圧の調節に関与するとは考えられていなかったため、これは予想外の結果だ。今後の研究でこのことが確認されれば、紫外線曝露により心疾患リスクが低減する可能性がある。血圧が正常な場合、適度な紫外線曝露で血圧は2～5㎜Hg低下し、高血圧の人ではさらに低下するだろう。皮膚がんを恐れて日光を避け、日焼け止めを常用することが心疾患の新たな危険因子になりうる」という。  　Feelisch氏は適度な時間を戸外で過ごすことを推奨し、「日光への過剰な曝露には皮膚がん発症リスクがあるが、少なすぎると心疾患のリスクが高まる可能性がある。皮膚がんと心血管疾患のリスクのバランスを検討する時期がきた」と述べている。研究論文は「Journal of Investigative Dermatology」1月20日に掲載された。

[2014年1月20日/HealthDayNews]Copyright (c) 2014 HealthDay. All rights reserved.

**原著論文はこちら**

[Liu D, et al. J Invest Dermatol. 2014 Jan 20. [Epub ahead of print]](http://pmc.carenet.com/?pmid=24445737)